

オータムンの部屋によっこそ！

－ 生活を飾る季節の工作 －

1・2年 図画工作科 9月 18Q 〈6時間〉
 附属新潟小学校 教諭 堀田 雄大

1 本題材で目指す姿

造形的な視点を基に「オータムン」の部屋のイメージを広げ、表し方を工夫して表現する子ども
 具体的には、**形や色に着目し、自分のイメージと関係付けて考える「見方・考え方」**を働かせて、「オータムン」の部屋のイメージを広げ、**面材・線材・塊材**の特徴を生かして表す姿である。

※ 材料の特徴を生かすとは、**覆う・張るといった面材の特徴**、**吊るす・巻き付ける**といった**線材の特徴**、**吊るして揺らす・敷き詰める**といった**塊材の特徴**を利用して、自分のイメージに合う造形活動を行うことである。

活動例)「オータムンが秋で遊んでいる感じの、ブランコや滑り台のあるような楽しい部屋を表したい」という思いをもつ。ストローを組み合わせて、滑り台の斜面をつくる。階段を付けたり、実際にオータムンを滑らせたりしながらちょうどいい角度に調整する。滑り台に紅葉やドングリを付けて飾り付ける。毛糸をフレームの網に結び付けて垂らす。垂らした毛糸の先に、ストローを短く切って椅子をつくり取り付ける。アルミホイルを小さく丸めて星のような形をつくり、遊具に飾り付ける。全体のバランスを考えて、アルミホイルを吊す飾りや、秋から想起される飾りを付ける。

2 本題材で育成する資質・能力（評価基準）

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
図画工作科	<ul style="list-style-type: none"> ○材料の形や色が表す効果に関する知識 ○基礎的な用具を扱う技能 	<ul style="list-style-type: none"> ○想像したことから、自分の表したいことについて発想・構想する力 ○手や体全体などの感覚を働かせ、表したいことを基に、表し方を考える力 	<ul style="list-style-type: none"> ○造形活動に主体的に取り組もうとする態度 ○自他の作品の面白さや楽しさをとらえようとする態度

3 関連する学習

[第1・2学年] 生活科
秋の探検隊



[第1・2学年] 図画工作科
オータムンの部屋へよっこそ！
－生活を飾る季節の工作－

4 題材の計画

	【学習活動】☆資質・能力	【働き掛け】	Q
生活科 (1次)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前庭や中庭の秋探しを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・夏と比べて、葉っぱの色が違うね。 ・生き物も変わった。鈴虫やコオロギがいるね。 ・まだ夏も残っているよ。 ○ 秋って面白い。夏よりも植物や生き物や空気が変わってる。秋って涼しくて気持ちいいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 今の季節を問う。 ◆ いつから季節が変わるのかを問う。 ◆ 夏と秋との違いを問い、実際に前庭で確かめさせる。 ※ 気付いたことを付箋に書き出させ、マッピングさせる。 ◆ 見つけた秋の材料を使った遊びを提案する。 	24Q 8時間
図工 (2次)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 周囲を秋に変化させる妖精、「オータムン」を粘土でつくる。 <ul style="list-style-type: none"> ・秋の色がたくさんオータムンだ。 ○ 落ち葉の洋服、ドングリの帽子をかぶったオータムンができたよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 秋の妖精「オータムン」と板書し、秋の友だち作りを提案する。 ※ 「オータムン」は、家に飾ると、その周りを秋の雰囲気に変えてくれる妖精である。 	

- 表現意欲を高め、表したいものをイメージする。
 - ・遊ぶ場所がある部屋にしたいな。
 - ・オータムンの他に生き物もいるといいな。早くつくりたいな。
- 表したいものの特徴やその様子を考える。
 - ・ブランコや長い紐がゆらゆら揺れて楽しい感じ。

○ **ぼくはブランコや滑り台の遊び道具があって、周りには鈴虫とかがいる部屋を表したい。 ☆図画工作科②**

どうやって、オータムンの部屋をあらわそうかな。

- 材料同士を比較して、その材料ならではの効果や使い方に気付く。
 - ・このテーブルには、画用紙とかカラーセロファンとか紙がたくさんある。
 - ・紙とかカラーセロファンは、貼って壁にできそうだよ。
 - ・折り紙は、葉っぱの形に切ったら紅葉みたいになるよ。
- 自分の表したいイメージに合う表し方を考え、製作する。

(活動例)

○ ストローを組み合わせ、滑り台の斜面をつくる。滑り台に紅葉やドングリを付けて飾り付ける。毛糸をフレームの網に結び付けて垂らす。椅子をつくり取り付ける。 図画工作科①②③

- 自他の表現のよさや面白さを基に、表し方を工夫して表す。
 - ・滑り台もブランコも、もっとうろろろんな材料で飾ると面白いとアドバイスをもらったよ。

(活動例)

○ 友だちの表し方も参考にして、アルミホイルを小さく丸めて星のような形をつくり、遊具に飾り付ける。全体のバランスを考えて、アルミホイルを吊す飾りや、秋から想起される飾りを付ける。 ☆図画工作科①②③

- 発揮した資質・能力を自覚する。

○ **ぼくは「オータムンが秋で遊んでいる感じの、ブランコや滑り台のあるような楽しい部屋を表したい」と思っていました。滑り台は、ストローを組み合わせ、コースみたいにして本当に滑るようなものができました。レポート鑑賞で〇〇さんが星をつくっていて、いいなと思いました。だから、アルミホイルで星をつくって飾りを付けたら、きらきらして、秋の夜みたいな感じになってすてきになりました。「オータムン」が本当に遊べるような部屋ができたのでとても嬉しかったです。 ☆図画工作科①②③, ツール活用能力**

- ◆ 「オータムン」が学校の様々な場所を秋にするという主旨で、前庭や中庭で記念写真を撮る。
- ◆ 「部屋が欲しい！」と「オータムン」からのお願いの手紙が届く。
- ◆ 「オータムンのへやへようこそ！」と板書し、部屋作りを提案する。
- ◆ 「何が」「どんな感じか」という視点で表したいものを問う。【働き掛け1】
 - ※ 「こんなものを表したい」という子どもがいれば、数名の意見を採り上げる。その都度、「詳しく言うത്?」「それはどんな感じ?」と問い返す。

- ◆ 材料を提示し触れさせ、気付いたことをマッピングシートさせる。

【働き掛け2】

- ※ フレームは、網を組み合わせた箱形を提示する。
- ※ 材料は面材、線材、塊材それぞれを順番に提示し、触らせる。
- ※ 気付いたことを付箋に書かせ、材料の近くに貼らせる。

- ◆ 表したいものの内容や表し方の意図を伏せた状態で、タブレット端末を用いた相互鑑賞を行わせ、その様子を動画で記録させる。

【働き掛け3】

- ※ 友だちの作品についてレポートした後自分の作品についての記録を見直す時間を取る。
- ※ 友だちのレポートが聞こえるように、イヤホンを用意する。

- ◆ 表現の過程が分かる写真や動画を提示し、「どんな作品ができたか」「どのように表したか」を問う。

【働き掛け4】